

2020年3月期連結決算
会社説明資料



豊 商 事 株 式 会 社



会社概要

創立	1957年1月17日
資本金	17億2,200万円（2020年3月31日現在）
代表者	代表取締役社長 安成 政文
事業所	本店・11支店
従業員数(連結)	369名（2020年3月31日現在）
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、西日本シティ銀行、りそな銀行
関係会社	ユタカエステート株式会社 ユタカ・アセット・トレーディング株式会社 YUTAKA SHOJI MALAYSIA SDN . BHD. YUTAKA SHOJI SINGAPORE PTE.LTD.（清算手続中）



沿革 (1)

- 1957年 1月 豊商事株式会社を福岡市天神町55に設立
- 1961年12月 本社を東京に移転する
- 1971年 1月 登録制から許可制への移行に伴い、農林水産大臣及び通商産業大臣
(現 経済産業大臣)より商品取引員としての許可を受ける
- 1990年 2月 YUTAKA SHOJI SINGAPORE PTE.LTD.設立
- 1991年 4月 東穀不動産株式会社(現：ユタカエステート(株))を子会社とする
ユタカ・フューチャーズ株式会社(東京)設立
- 5月 日本商品投資販売業協会(旧日本商品ファンド協会)加入
- 10月 豊不動産株式会社を吸収合併
- 1995年10月 商品ファンド運用法人認可
- 11月 株式を店頭公開
(証券コード8747:ジャスダック証券取引所
(現 東京証券取引所 JASDAQ スタンダード))
- 1997年 2月 東京金融先物取引所(現 (株)東京金融取引所)加入
- 2005年 9月 改正金融先物取引法に基づく金融先物取引業の登録
- 2006年 2月 プライバシーマーク認証を取得
- 4月 (株)東京金融取引所にて為替証拠金取引「くりっく365」を取引開始
- 2007年 7月 ユタカ・アセット・トレーディング株式会社設立



沿革 (2)

- | | |
|----------|--|
| 2010年11月 | 日本証券業協会に加入
(株)東京金融取引所にて株価指数証拠金取引「くりっく株365」
を取引開始 |
| 2014年 7月 | あかつき証券(株)との業務提携により、証券ビジネスに参入 |
| 2016年 7月 | 金沢支店開設 |
| 2017年 1月 | 創立60周年 |
| 4月 | 広島支店開設 |
| 11月 | 関内支店開設 |
| 2018年 4月 | YUTAKA SHOJI MALAYSIA SDN . BHD. を増資により特定子会社化 |
| 5月 | 支店統合に伴い、横浜支店移転及び関内支店廃止 |



加入取引所

国内 (株)東京商品取引所
大阪堂島商品取引所
(株)東京金融取引所



事業内容

商品先物取引

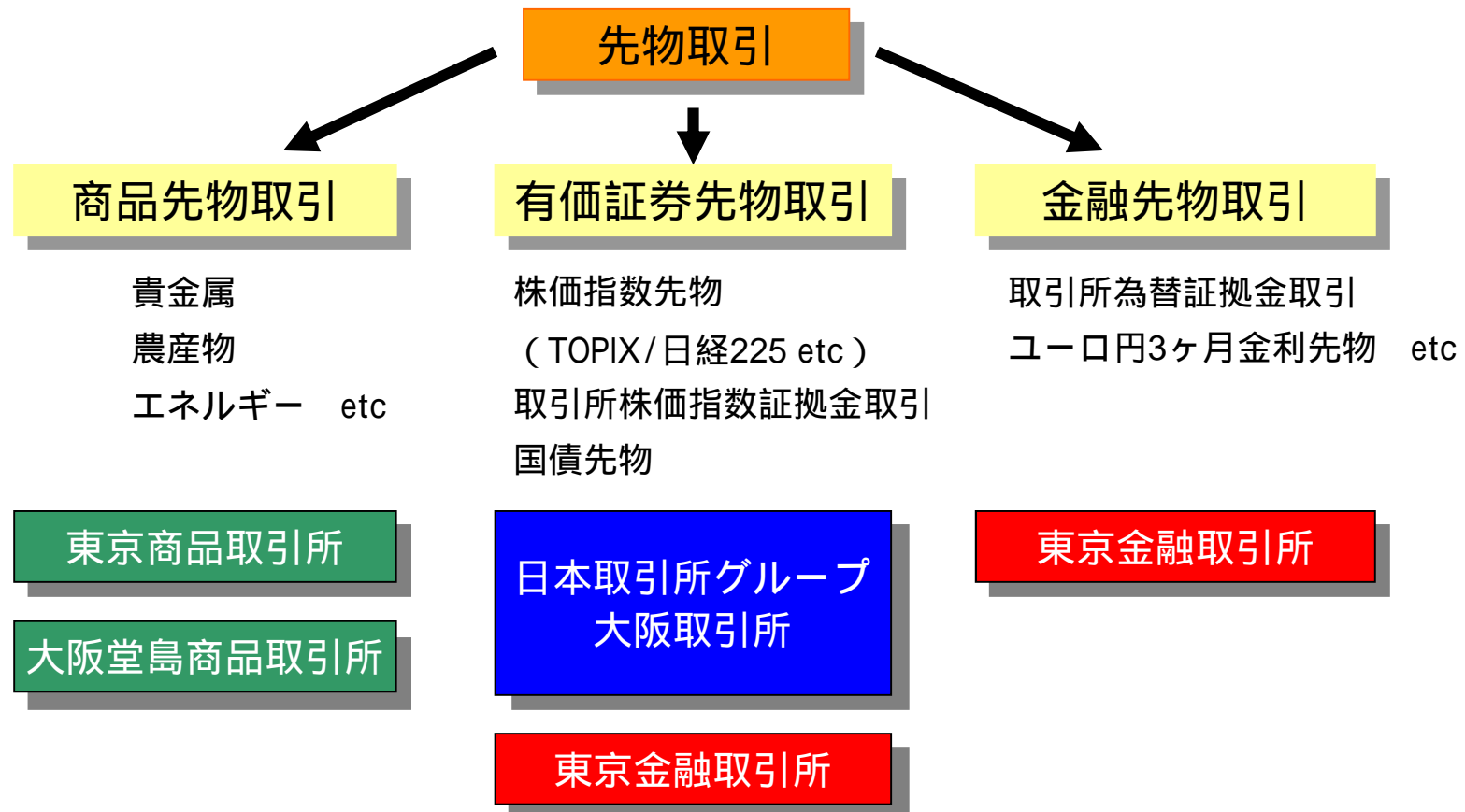
金融商品取引

- ・ C F D 取引 : 取引所株価指数証拠金取引(商品名 : 「ゆたかCFD」)
- ・ F X 取引 : 取引所為替証拠金取引(商品名 : 「Yutaka24」)
- ・ 証券取引 : 証券媒介業務

貴金属現物販売業務

当社オリジナル商品(「金庫番」「プラチナ倶楽部」)の販売
現在、新規契約の受付を一時停止させていただいております。

日本の取引所で行われている先物取引





商品先物取引

商品先物取引とは「将来の一定期日に、取りきめた値段で取引することを約束する取引」です。

主たる商品先物取引の機能として下記の3つがあります。

「リスク・ヘッジ機能」

農作物の生産者や原油を輸入する商社などが、価格の値上がりや値下がりするリスクを回避（ヘッジ）する手段として利用しています。

「資産運用機能」

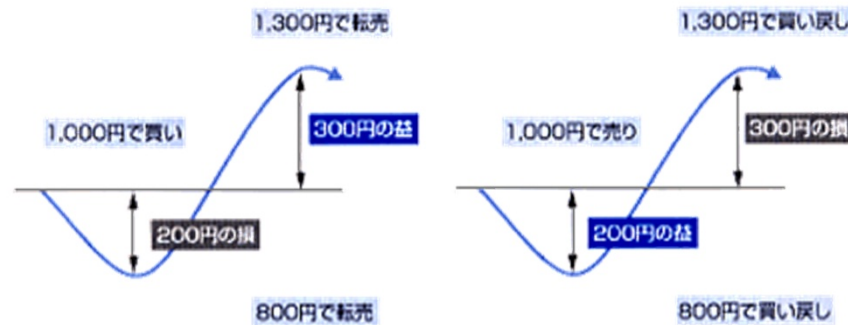
金融派生商品（デリバティブ）として、株式や土地などと同じように商品先物は、法人や個人の資産運用の有益な手段となっています。

「価格形成機能」

天候や経済情勢により、高いか安いかわちらか一方に偏ってしまった商品の価格を、先物取引を利用することで需要と供給の調整を生み、公正な価格を形成することとなります。

商品先物取引の仕組み

商品先物取引で特徴的なことは「約束の期日を待って物の受渡しを行うこともできるし、また約束の期日以前ならば、いつでも、その時点の価格ではじめの取引とは反対の売買を行うことによって当初の「買い」又は「売り」の契約を解消し、品物の受渡しをしないで、差金決済するだけで取引を終了させることもできる取引」であることです。最初に買い付けるだけでなく、途中で買い戻して差金決済すればよいのですから、品物をもっていなくても「売り」から取引を始めることができます。買い付けたものが値上がりしたときに転売すれば買値と売値の差が利益となり、売り付けたものが値下がりしたときに買い戻せば利益となります。（逆の値動きの場合は損失となります。）つまり「買い」から始めても「売り」から始めても、買値より売値が高くなれば利益が生じます。このように商品先物取引では、値上がりだけでなく値下がり局面でも利益を追究することができるのです。



国内商品先物取引所の上場商品

農産物

とうもろこし 大豆 小豆 コメ



エネルギー

原油 ガソリン 灯油 軽油 電力

貴金属

金 銀 白金 パラジウム

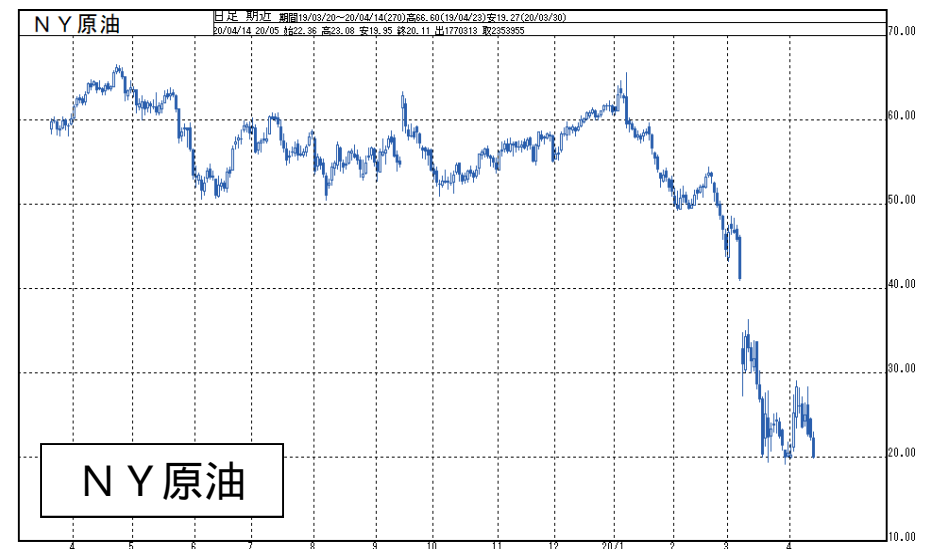
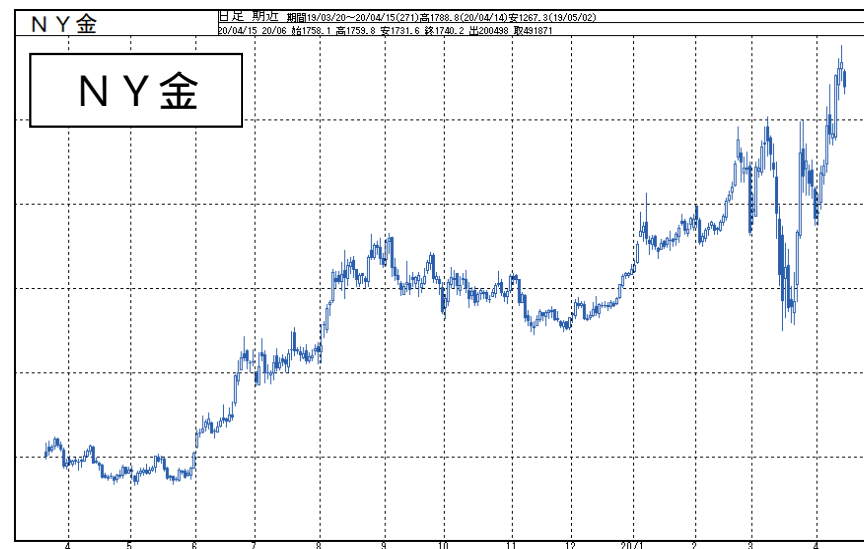
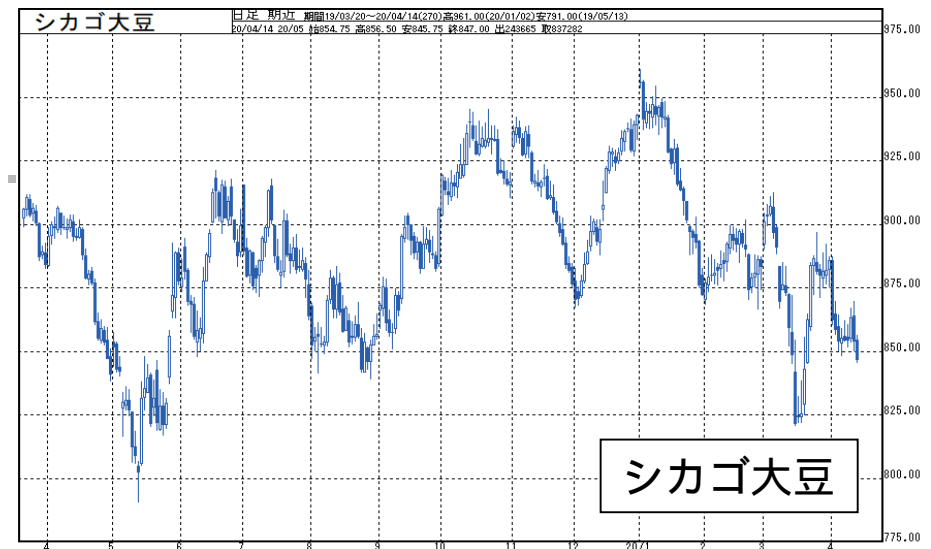
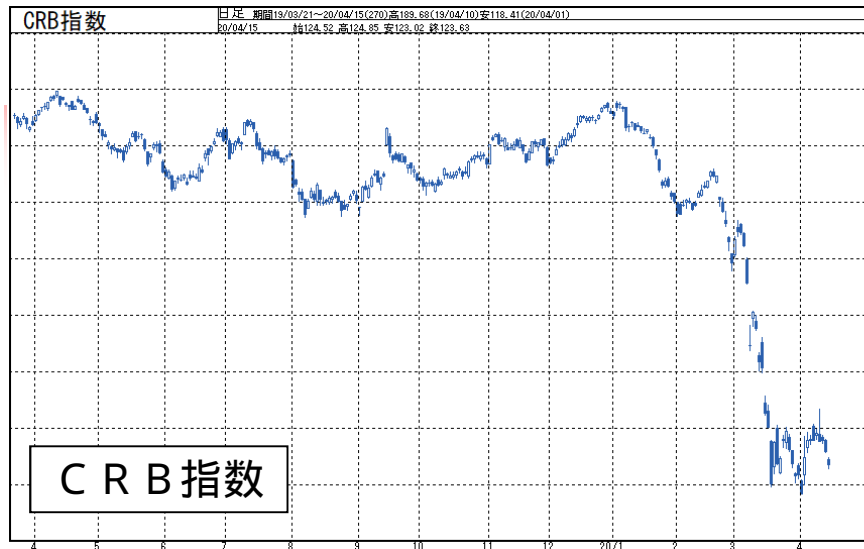


その他

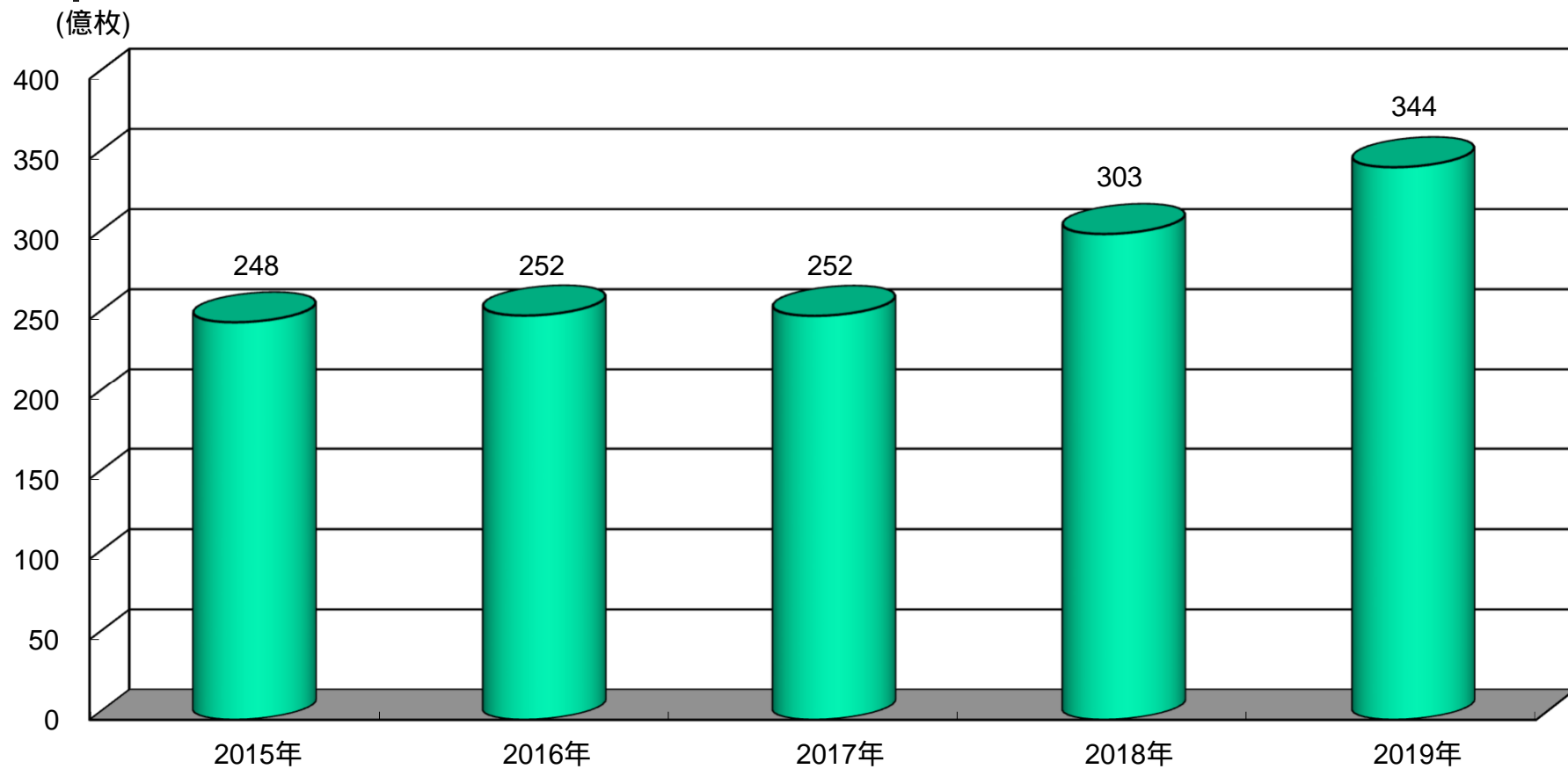
粗糖 ゴム



商品価格のチャート

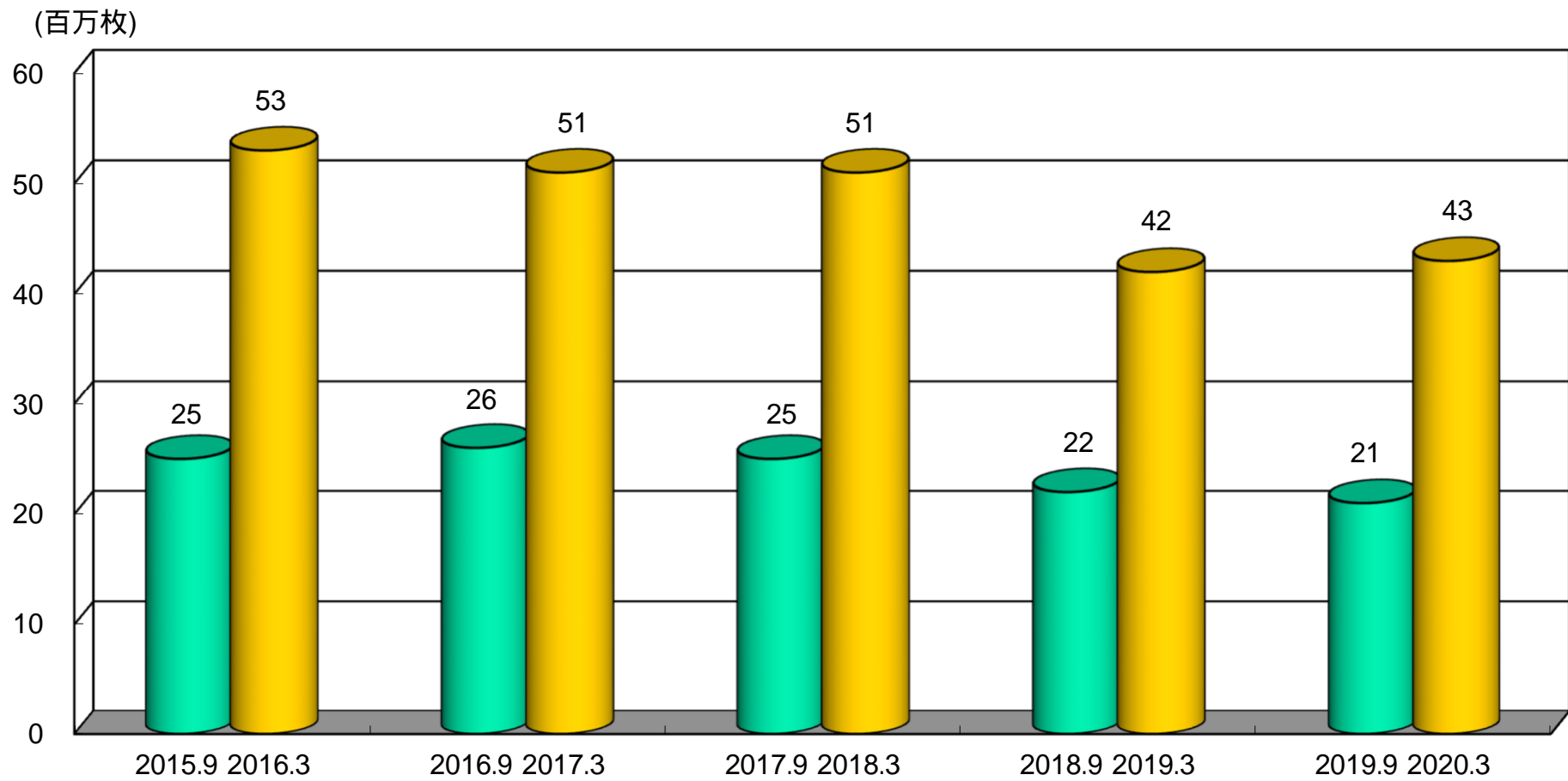


先物市場の出来高合計の推移(世界)



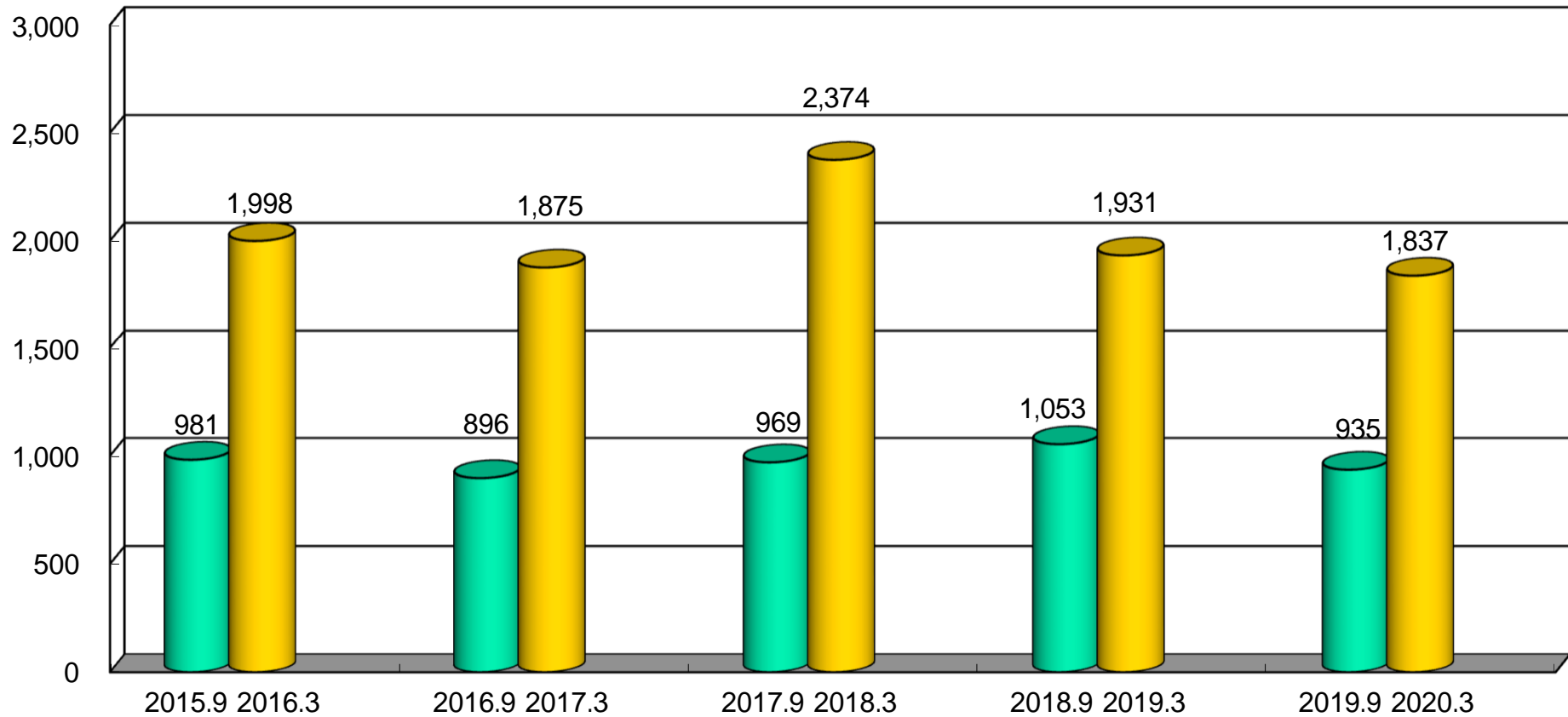
出来高には、オプション取引を含む
暦年ベース

先物市場の売買高合計の推移(国内)



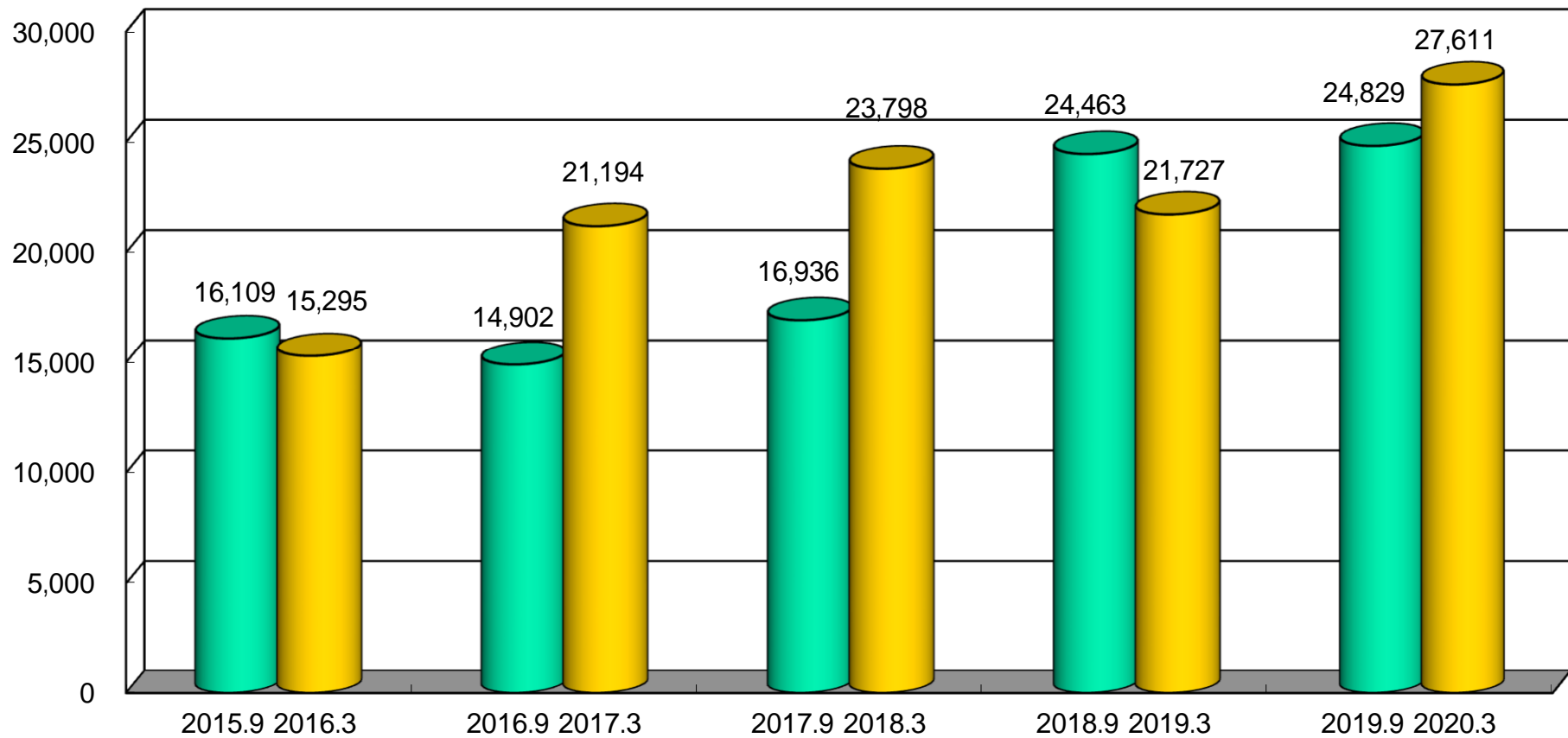
豊商事連結の先物市場の売買高合計の推移

(千枚)



豊商事連結の先物取引預り残高の推移

(百万円)





CFD取引

CFDとは「差金決済」という意味で、株価指数や株式、債券、為替、商品などを取引してその売買差益によって資産を運用するデリバティブ（金融派生商品）の一つです。現在の価格が投資対象となっており、また決済期限はありませんが、現物取引と違い「安く買って高く売る」ことで利益になるだけでなく、「高く売って安く買う」ことでも利益が生じます。（逆の値動きの場合は損失となります。）

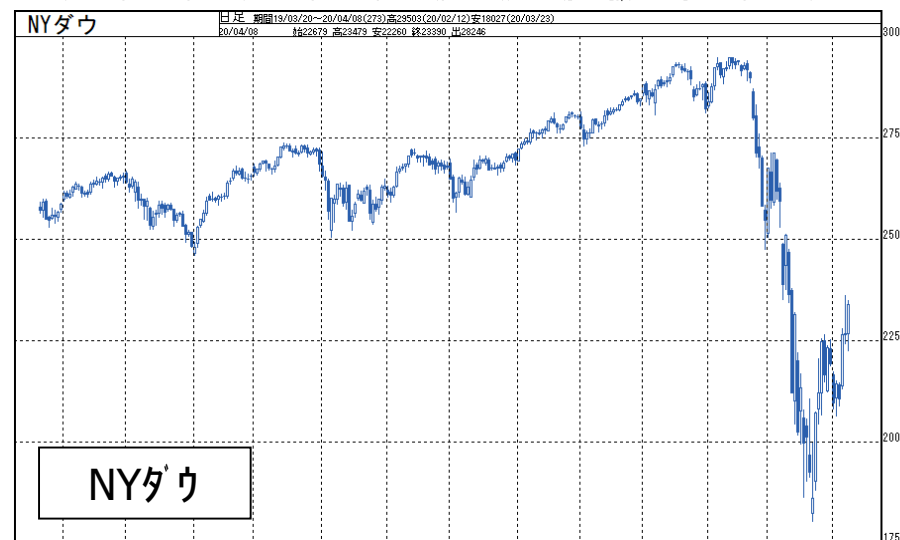
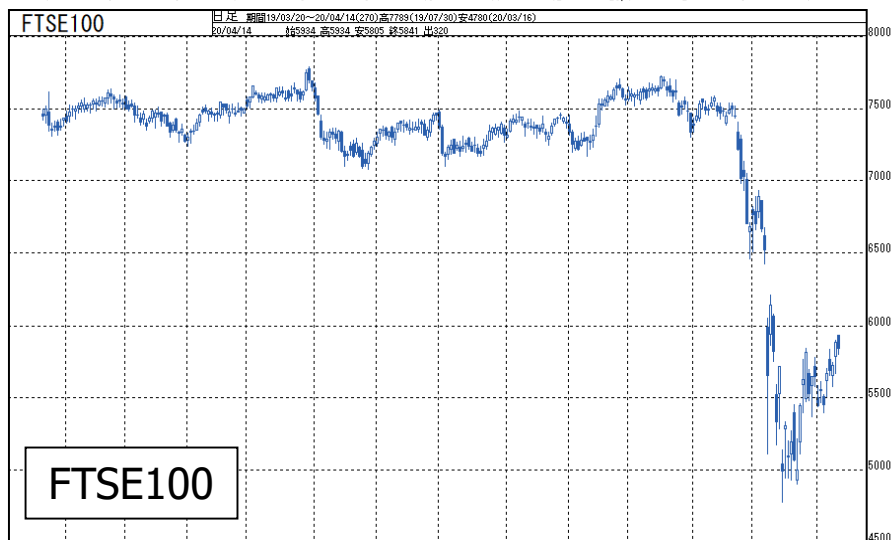
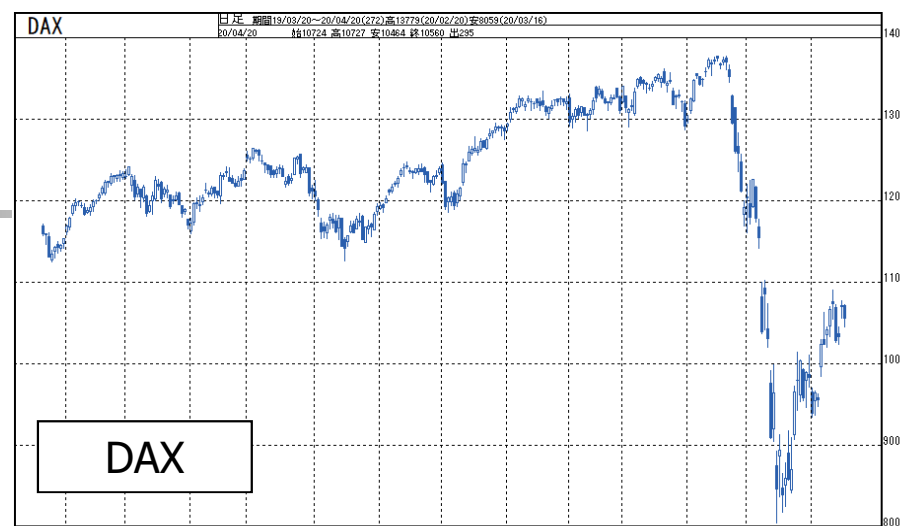
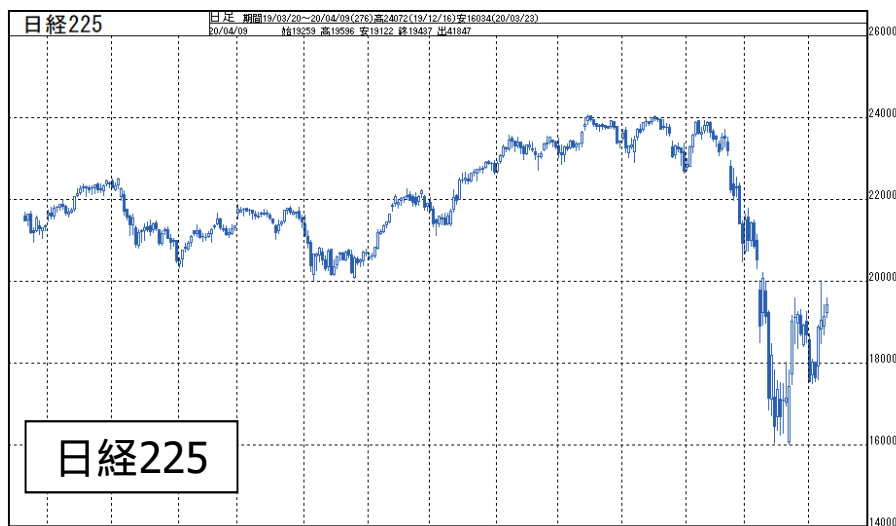
さらに、「買いポジション」があれば、権利確定日に配当相当額を受け取ることもできます。（逆の場合は支払となります。）

また、ポジションを建てたまま持ち越す場合は、金利の受け払いが発生します。

（買いポジションであれば金利相当額を支払い、売りポジションであれば受取ることになります。）



株価のチャート

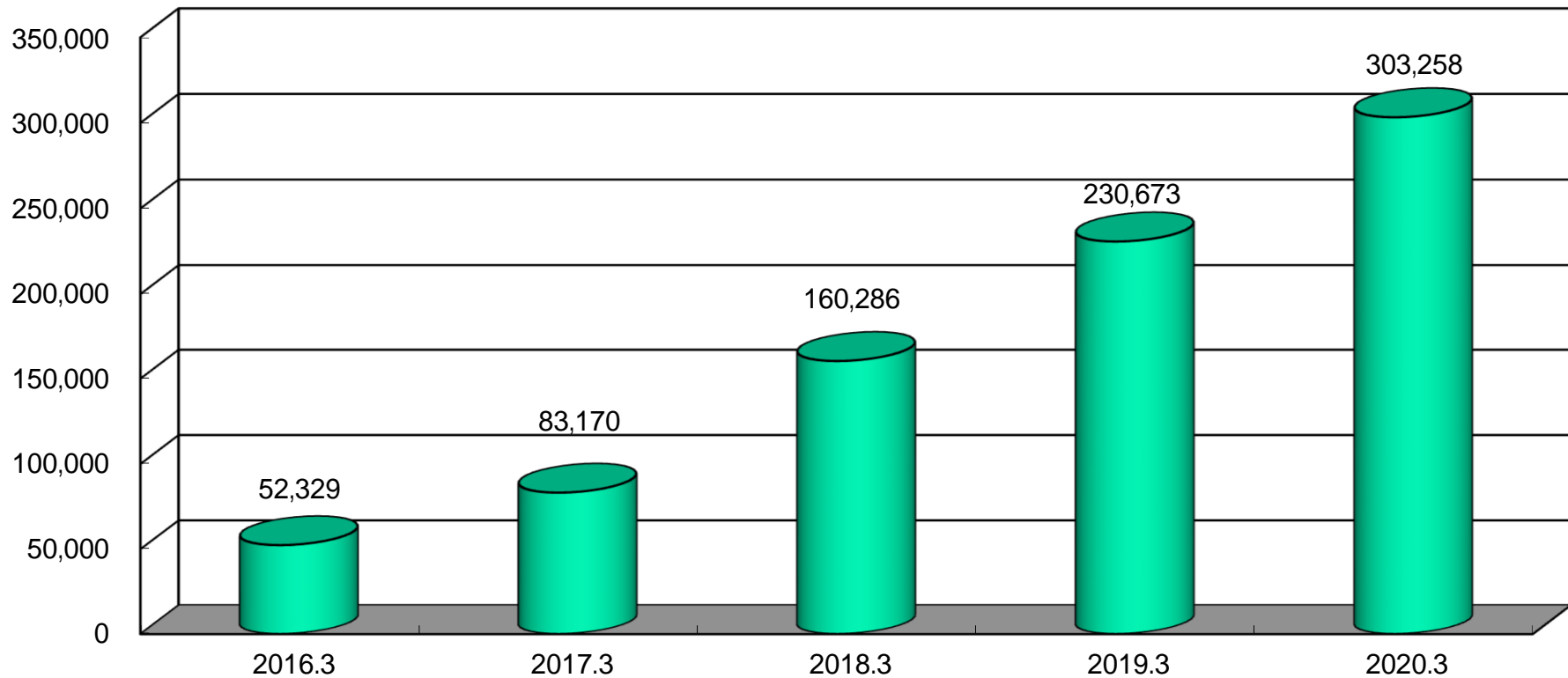


「日経平均株価(日経225)」は日本経済新聞社が、「FTSE 100」はFTSEが、「DAX®」はドイツ取引所が、「ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)」はS&P Dow Jones Indices LLCが知的所有権等一切の権利を有します。各ライセンサーは本商品のスポンサー、保証、販売促進を行っておらず、東京金融取引所の株価指数証拠金取引に一切の義務ないし責任を負うものではありません。

東京金融取引所

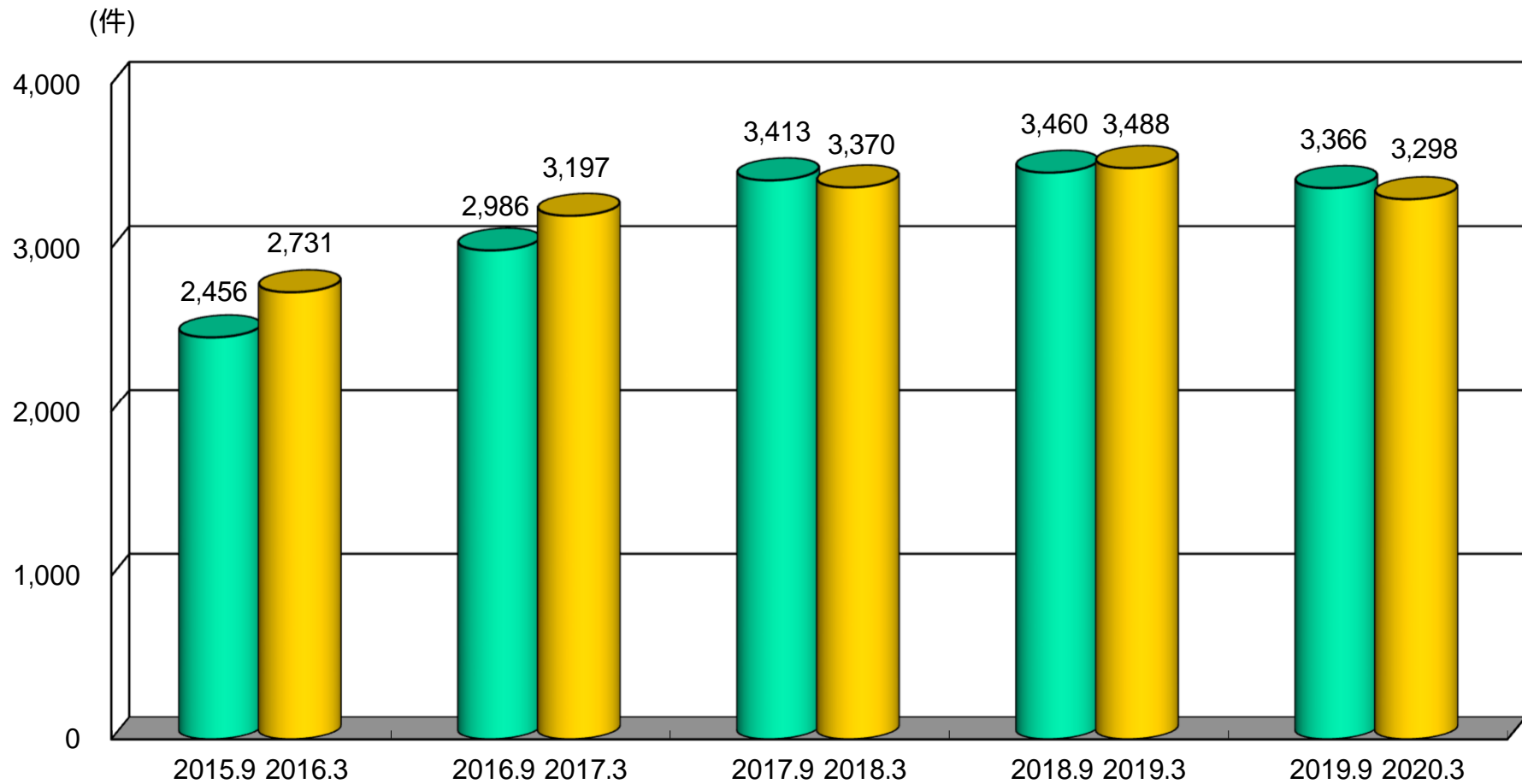
C F D(くりっく株365)市場の口座数推移

(件)



出典：(株)東京金融取引所マーケット情報より

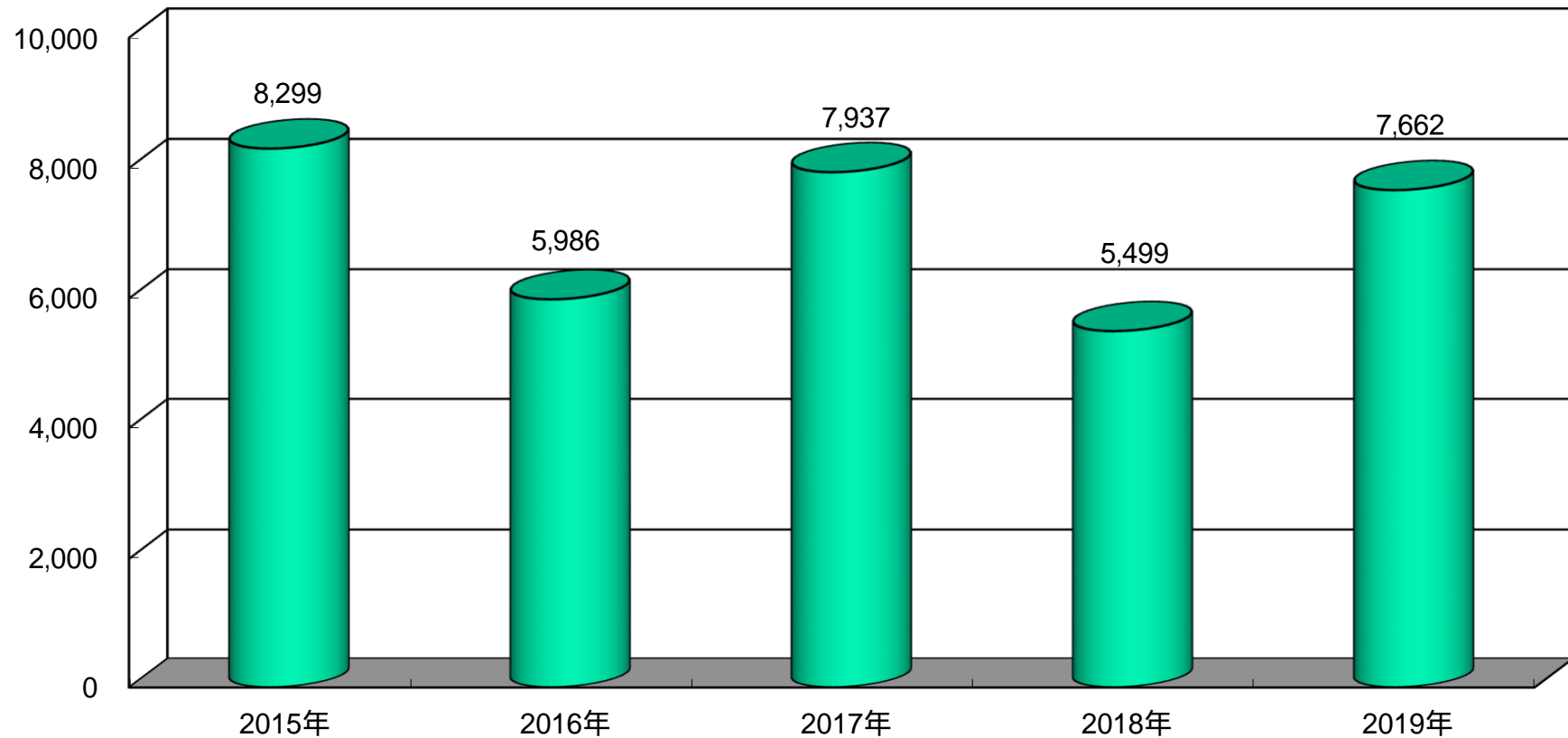
豊商事のCFD口座数の推移



東京金融取引所

C F D (くりっく株365)市場の売買高合計の推移

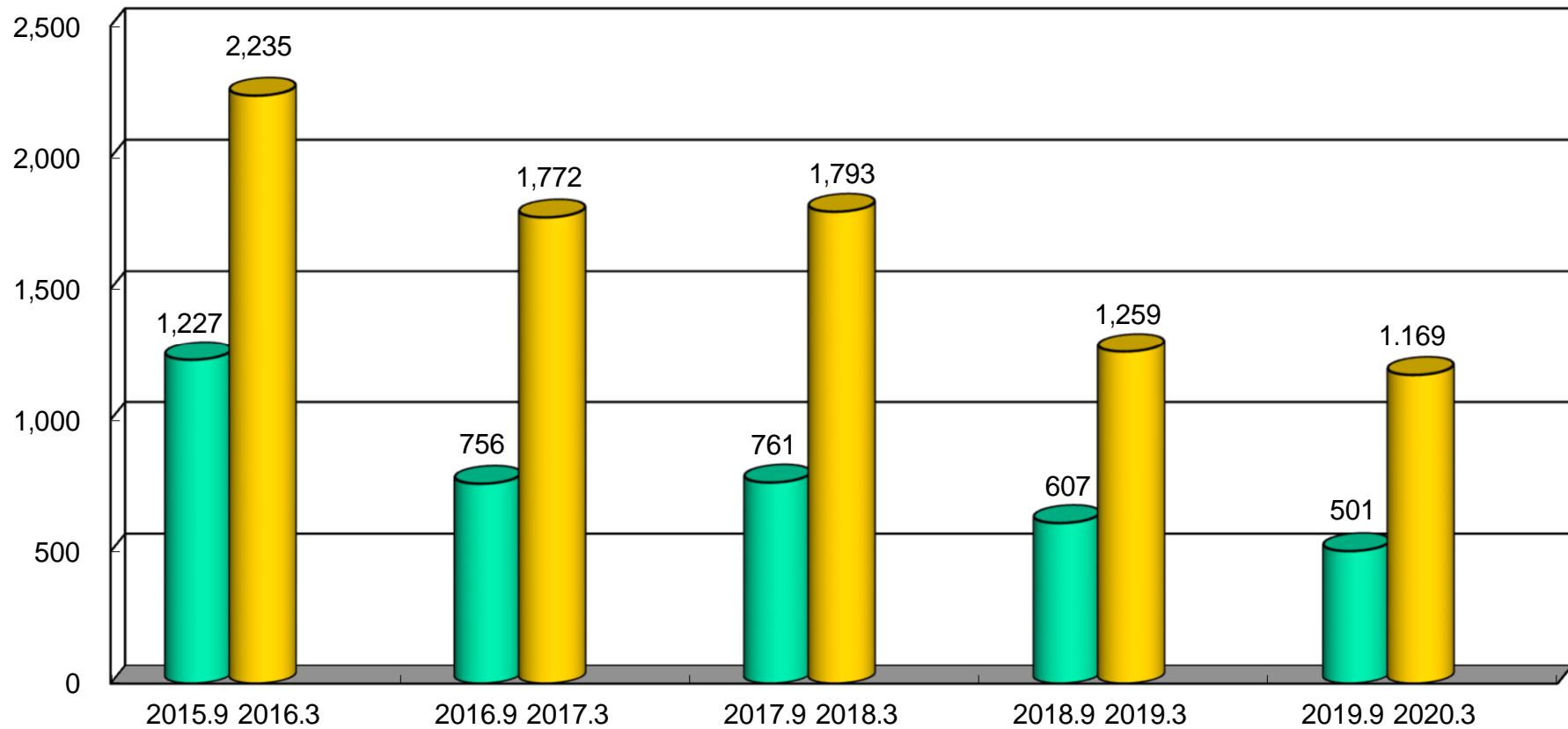
(千枚)



出典：(株)東京金融取引所マーケット情報より
暦年ベース

豊商事連結のCFDの売買高合計の推移

(千枚)





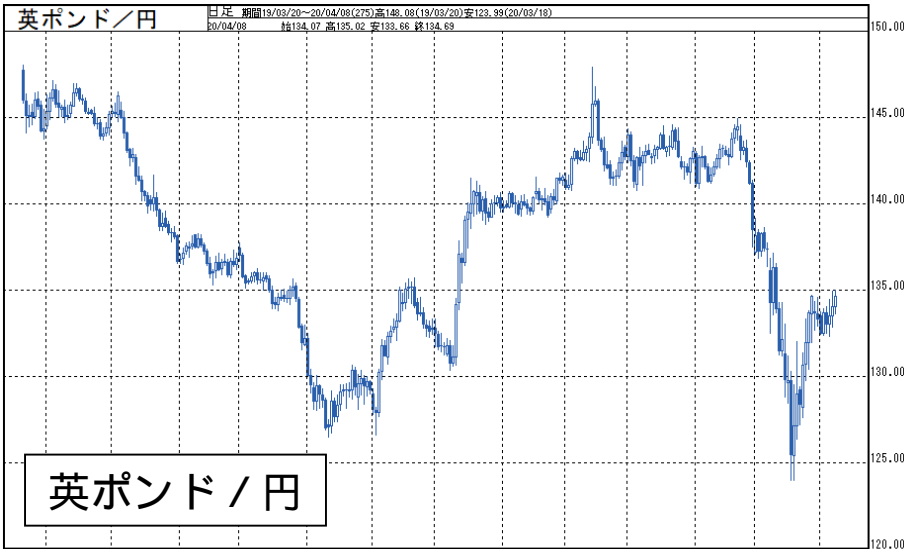
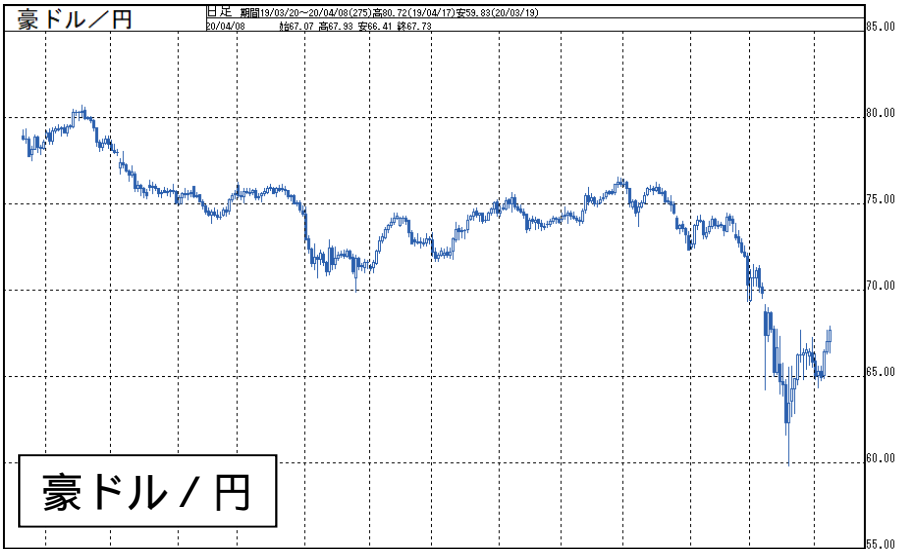
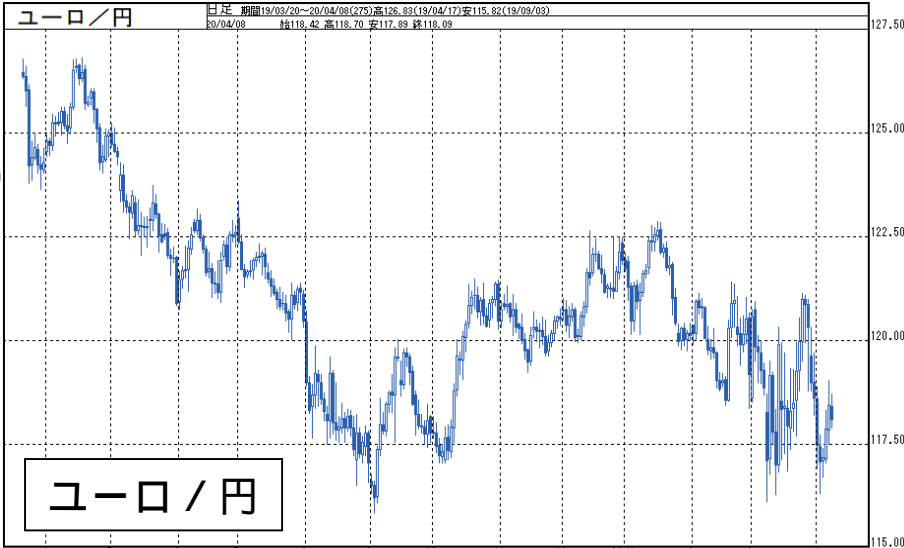
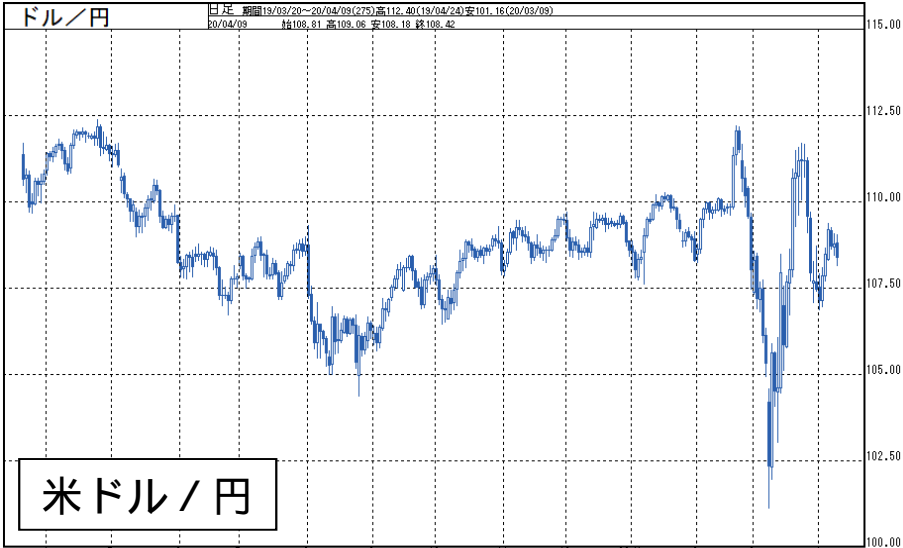
F X取引

FXとは通貨の売買を行う「外国為替取引」と「証拠金取引」がセットになった金融商品。

外国為替取引とは、通貨を売買することで利益を狙う取引で、先物取引と同じように「安く買って高く売る」ことで利益になるだけでなく、「高く売って安く買う」ことでも利益が生じます。（逆の値動きの場合は損失となります。）さらに、金利の高い通貨を買えば、保有期間中に「スワップポイント」という金利調整分を受け取ることもできます。（逆の場合は支払となります。）



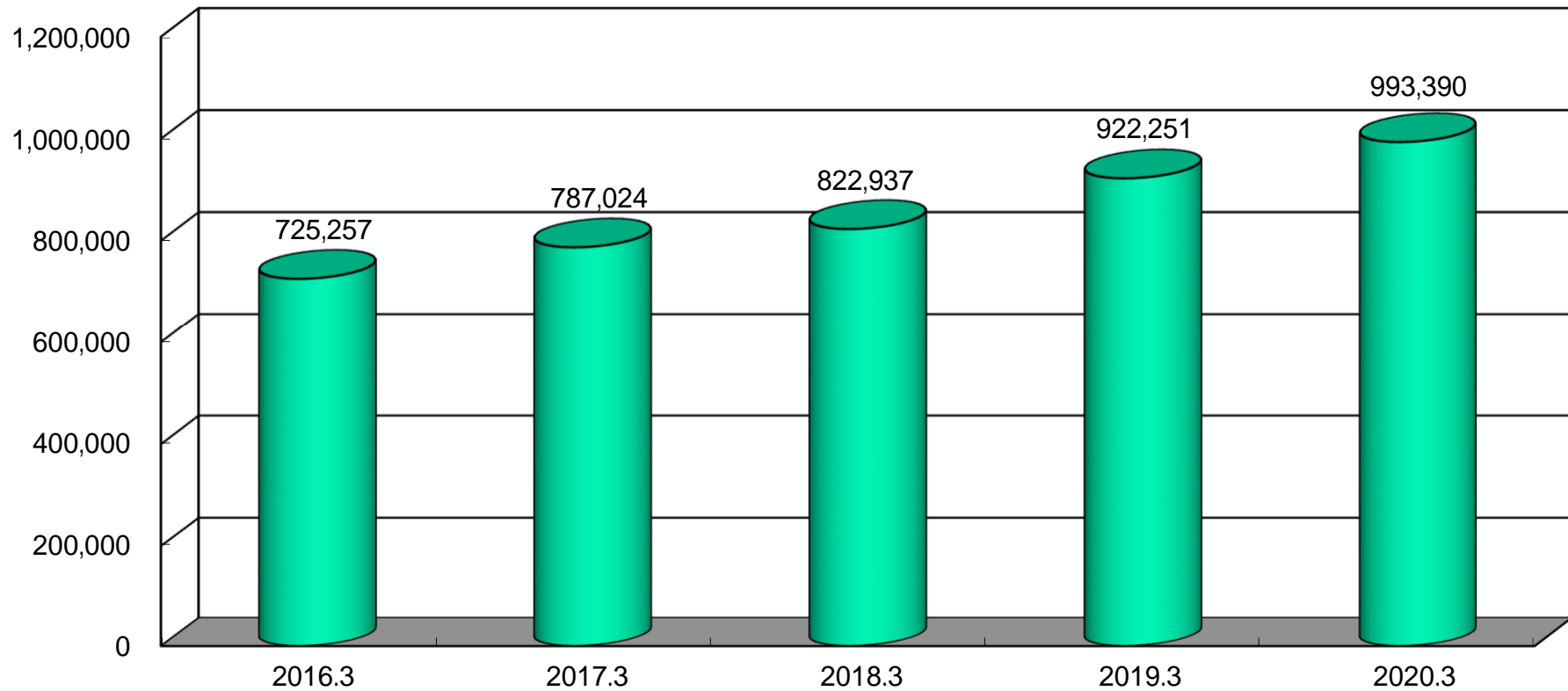
外国為替のチャート



東京金融取引所

F X(くりっく365)市場の口座数推移

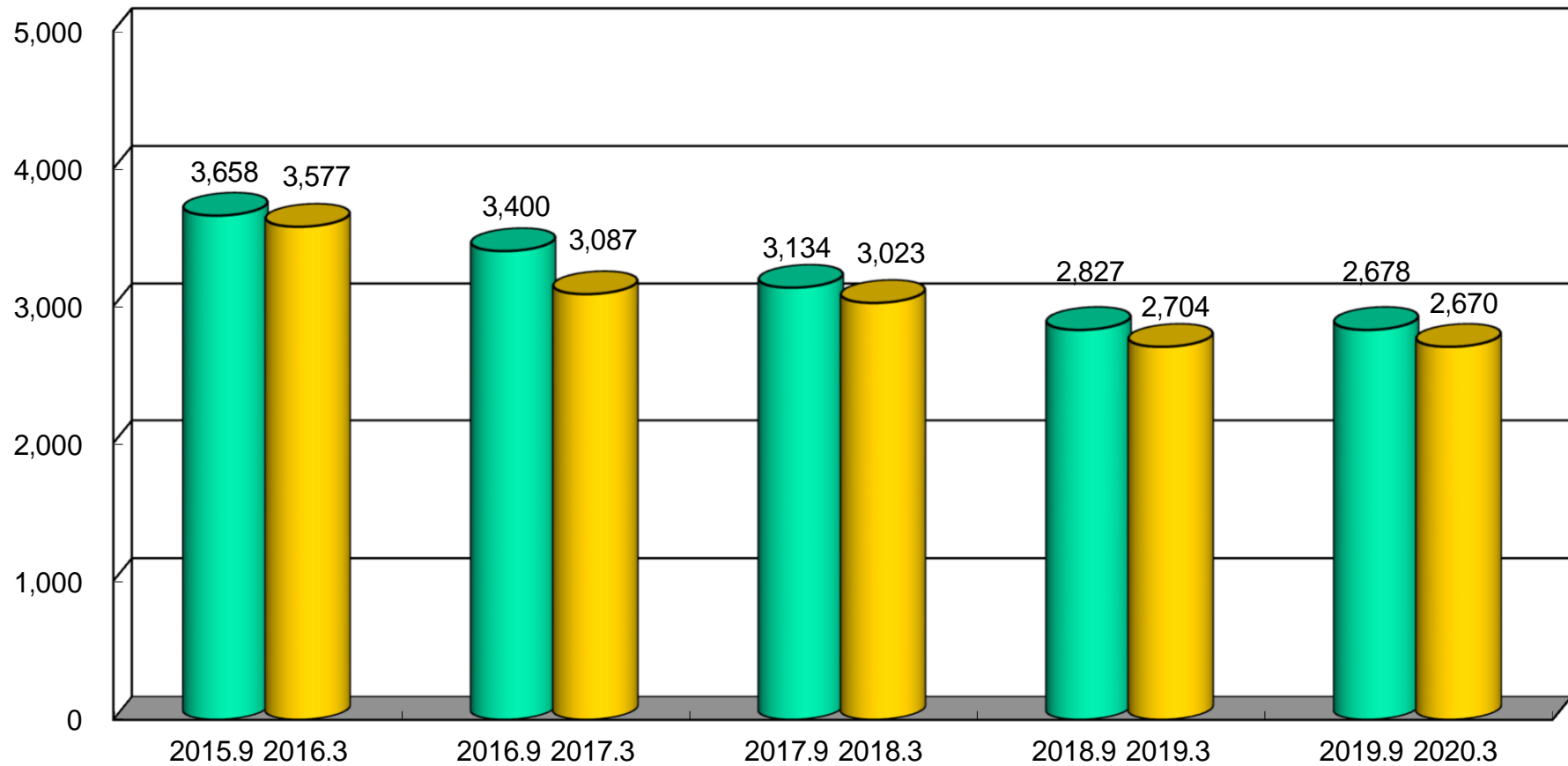
(件)



出典：(株)東京金融取引所マーケット情報より

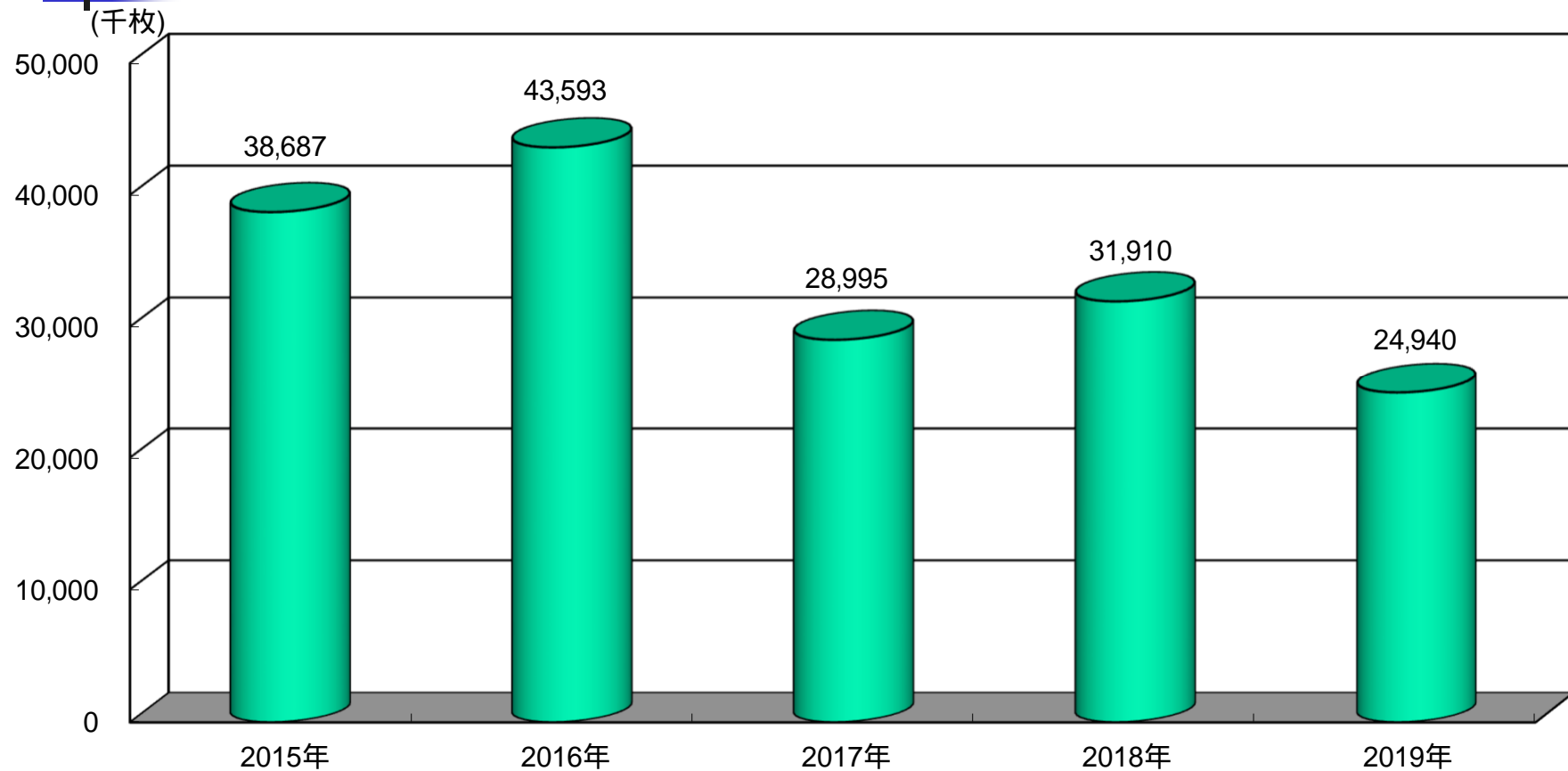
豊商事のFX口座数の推移

(件)



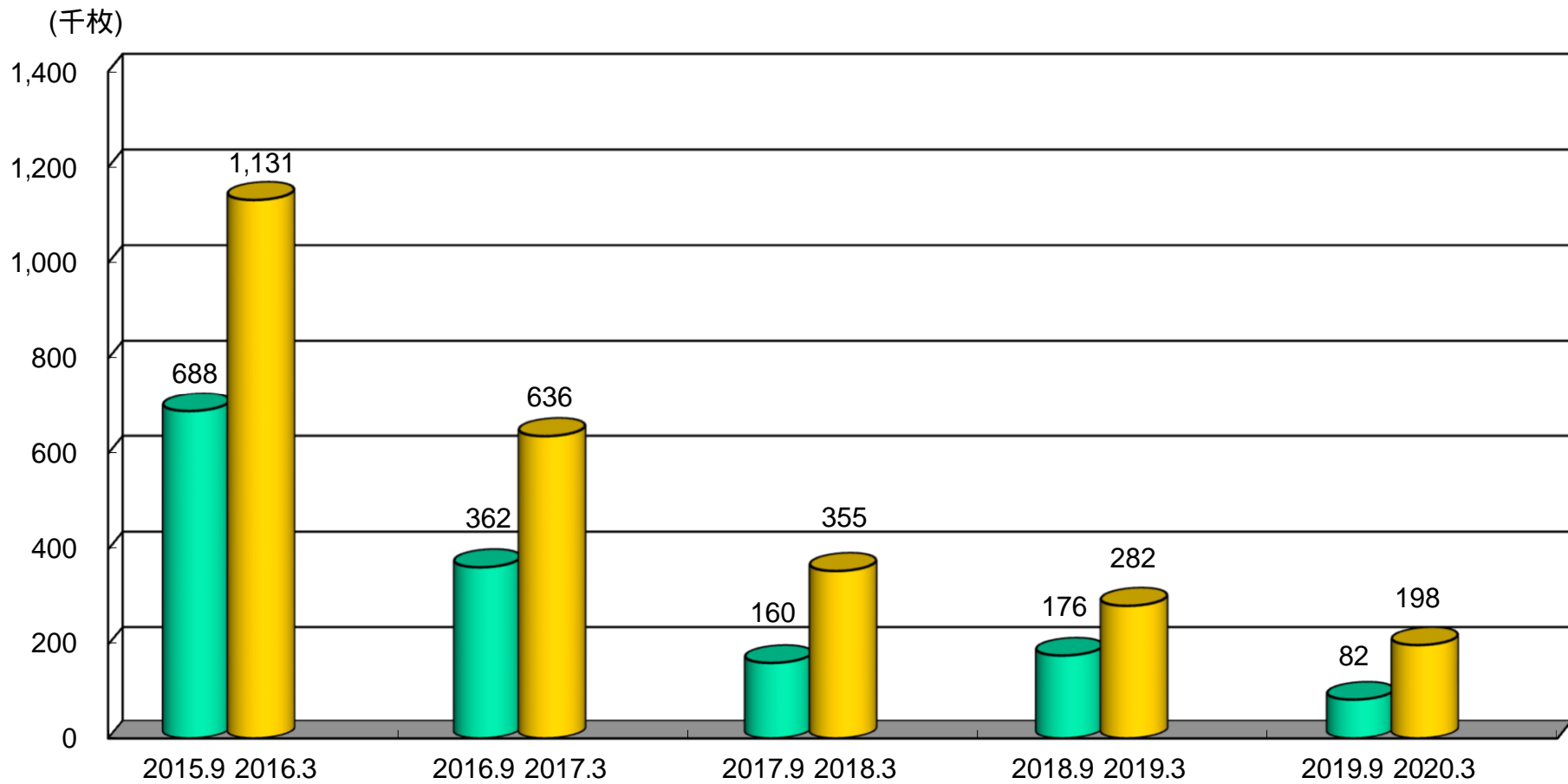
東京金融取引所

F X (くりっく365)市場の売買高合計の推移



出典：(株)東京金融取引所マーケット情報より
暦年ベース

豊商事連結のFXの売買高合計の推移





何故、今「豊商事」なのか！

安心・信頼・安全 これまでもこれからもお客様第一主義

コンプライアンスの徹底

金融商品取引法の施行前からコンプライアンス重視の経営姿勢。
勧誘規制が強化されても左右されることのない経営。

「情報の質」の追求

誰もが知っている情報を様々な角度から分析し、役に立つ情報
に変えてお客様にお届けする。

フェイス to フェイス

インターネットによる取引が主流になっていく中で、対面営業
を主として取引の仕組みやルールをお客様がしっかりと理解し、
安心して取引を行える。



プロによる相場のレポートからセミナー まで動画配信による投資情報の提供

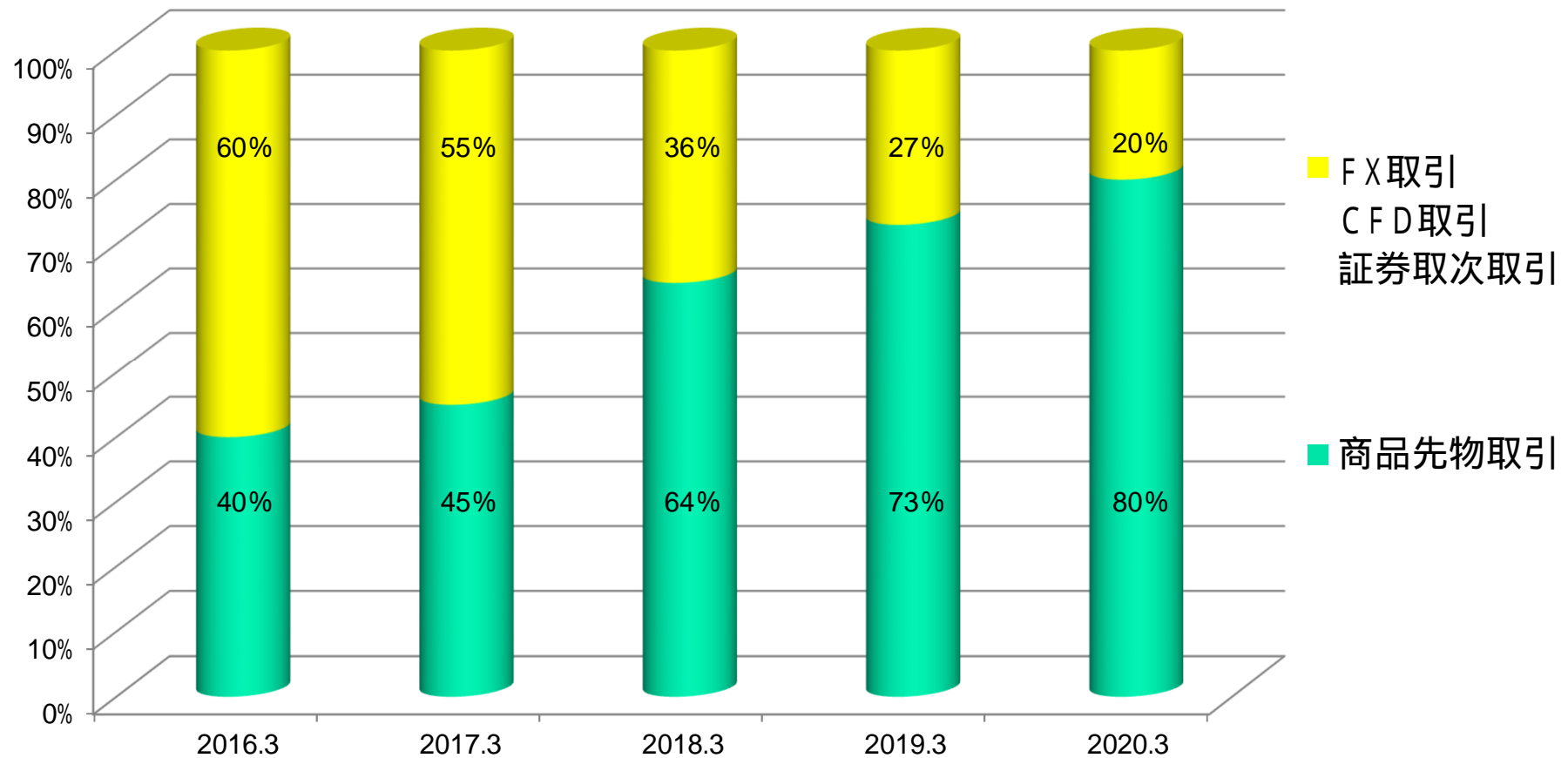
Yutaka Market TV

<http://www.yutaka24.jp/seminar/ymtv.shtml>

金融セミナー

<http://www.yutaka24.jp/?url=/seminars>

豊商事の収益構造推移(受取手数料)



最近5事業年度（連結）の主要経営指標の推移

回次	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
決算年月日	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
営業収益 (千円) (うち受取手数料)	4,456,517 (4,326,468)	3,536,915 (3,507,174)	4,978,341 (4,899,647)	5,911,486 (5,733,298)	7,041,220 (6,644,021)
経常利益 (千円)	114,365	384,833	334,707	766,496	1,488,443
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	447,140	441,443	267,143	578,886	815,262
純資産額 (千円)	9,534,659	8,974,373	9,219,172	9,668,702	8,856,960
総資産額 (千円)	42,928,488	48,980,841	53,261,582	51,124,334	55,030,525
1株当たり 純資産額 (円)	1,176.83	1,113.71	1,150.26	1,206.21	1,618.64
1株当たり 当期純利益 (円)	54.51	54.60	33.31	72.22	107.39
自己資本比率 (%)	22.2	18.3	17.3	18.9	16.1